

ほつ スピタル・かいづか

「病院の栄養管理室の仕事は何でしょう？」と尋ねると「食事を作ること」と答えるかたが大半ですが、他にも様々な業務をしています。

入院時に患者さんが食事をとれる病態かなどを管理栄養士が確認し、患者さんに合わせた栄養管理計画書を作成します。そして、病状に合わせた食事内容や形態で提供します。

例えば、固い食品が噛み切りにくい時は、きざみ菜やつぶし菜に、飲み込みにくい場合は食事にとろみをつけて提供します。治療の影響で食欲が低下している患者さんにはベッドサイドに訪問し希望を伺い、冷たい物が食べやすい場合は酢の物や果物をメニューに入れたりします。また、ご希望のかたにはお

⑩ 栄養管理室

問合せ先 貝塚病院 ☎422-5865

好み焼やちらし寿司など個別メニュー(コスモス食)を選んでいただくことも可能です。



入院中の食事が楽しみの一つとなるよう、季節に応じた行事食や、週1回患者さんに珈琲・紅茶などのサービスを実施しています。

糖尿病や肝臓病、脂質異常症などの外来・入院患者さんとそのご家族には医師の指示のもと、栄養指導を行っています。

食事は「生きる源」であり「癒し」ですが同時に治療にも重要な役割を担っています。栄養管理室ではこれからも治療に役立つ食事の提供に取り組んでいきます。

栄養管理室長 南川敏江